

氏名	吉 武 慶 喜
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1587 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和60年 9 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	心筋細胞の特殊顆粒に関する比較解剖学的・電子顕微鏡的研究
論 文 審 査 委 員	教授 村上宅郎    教授 栗井通泰    教授 寺本 滋

### 学位論文内容の要旨

円口類，魚類，両生類，は虫類，鳥類及びほ乳類の心房筋細胞と心室筋細胞内の特殊顆粒を電子顕微鏡で検索した。

特殊顆粒の直径の平均値は円口類のカワヤツメ124nm，魚類のエイ200nm，キス110nm，メバル130nm，コチ160nm，ハゼ130nm，ヒラメ97nm，カレイ110nm，タイ160nm，ボラ124nm，ウナギ180nm，ドジョウ110nm，アユ110nm，コイ120nm，フナ120nm，キンギョ110nm，両生類のトノサマカエル120nm，は虫類のクサカメ133nm，ヘビ146nm，鳥類のニワトリ144nm，ほ乳類のラット260nm，イヌ170nm，ブタ210nmであった。

心房筋細胞内における特殊顆粒の分布数は魚類以外の脊椎動物ではラットが最も多く，次いでクサカメ，ヘビ，トノサマカエル，カワヤツメが多く，ニワトリ，イヌ，ブタで最も少なかった。また，魚類ではボラが最も多く，次いでコチ，ハゼ，ヒラメ，カレイ，タイ，ドジョウ，アユ，コイ，フナ，キンギョ，ウナギで多く，キス，メバルで最も少なかった。

心室筋細胞内における特殊顆粒の分布数は魚類以外の脊椎動物ではクサカメ，ヘビ，トノサマカエルで最も多く，カワヤツメ，ニワトリ，イヌで多く，ラット，ブタで最も少なかった。魚類ではボラとコチで最も多く，ハゼ，ヒラメで多く，エイ，キス，メバル，カレイ，タイ，ウナギ，ドジョウ，アユ，コイ，フナ，キンギョで少なかった。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は，従来不明であった心房筋細胞と心室筋細胞内の特殊顆粒について，円口類，

魚類，両生類，は虫類，鳥類，ほ乳類を通してその存在を電顕的に証明した価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。